



東京都渋谷区代々木2丁目23番1号
ニューステイメナー865号室 (〒151-0053)
Tel 03-6240-2300 Fax 03-6240-2301
E-mail : info@asset-adv.co.jp
ホームページ : http://www.asset-adv.co.jp/



新しくしました。

AA通信

2010年(平成22年)3月1日 第19号

時候コラム

チリで大地震があり、津波の影響が日本にもありました。津波の速度は水深4,000Mの海でジェット機並みの時速720kmになるそうです。一月にハイチでも大地震があり、20万人以上の方が亡くなったと報道されました。調布市の人口が22万人です。被害が想像を超えています。チリでも1人でも多くの方が助かる事を祈ります。

通信トピックス

～ 中国との関係を考える ～

母校の経済人クラブで日中協会理事長の話の話を聞きました。日本人は中国に対して色々な感情があるだろうが、中国は経済的にも無視できない国になっている。観方を複数持って上手に付き合う必要がある。という話でした。

例えば、日本の人口は1億2700万人です。対して、中国は10倍の12億7000万人です。お金持ちが人口の1%だと仮定すると、日本は約127万人。中国は約1270万人。なんと、東京都の人口(1290万人)とほぼ同じ人数のお金持ちがいる計算になります。少し乱暴な計算ですが、こう捉えると、中国の経済成長が、日本経済に与える影響を実感できると思います。中国のお金持

ちは、日本の良い品物を欲しがっています。企業では、既に日本の資本は不要であり、必要なのは高い“技術”と、質の良い“人材”と考え、日本企業を買いたいと考えています。事実、家電量販店の「ラオックス」は中国資本に買収され、秋葉原では中国人観光客を相手にした免税店に変身しました。

全く話は変わる様ですが、ジャーナリストの櫻井よしこ氏が勧める『日本核武装入門』という物騒な題名の本を読みました。実はマンガです。中国軍事研究の第一人者である平松茂雄氏の監修で作られた本は、若者に読んで貰いたいと、あえてマンガにしたとの事です。

第二次大戦後の中国は、核爆弾の威力と、米国との苦い外交経験から、核を“保有”する事で、外交を優位に

進めることが出来ると確信、国家戦略として核開発を成功させた。核を“保有”した中国は、同時に米国核に対する抑止力を保有し、1970年以降、カナダ、米国、日本と国交を樹立している。今後の中国戦略は、台湾統一を前提に、日本の領海(排他的経済水域)を含めた、太平洋への海洋進出を目論んでいる。こうした状況下で、外交戦略を優位にする為、日本も核を“保有”する必要がある。という概要です。

慎重に議論すべき内容ですが、中国と同じ戦略を進めている北朝鮮への、近年の米国の対応を見れば、理解出来ます。1995年、中国の李鵬首相は、オーストラリア首相との会談で、「日本などという国は、このまま行けば20年後に消えてなくなる。」と発言しています。日本は、どんな戦略を採るでしょうか。

日常コラム

～ 首都高速大橋JCTの見学会に参加しました。 ～

首都高速中央環状線の新宿～渋谷間が、今月(3月)28日午後4時に開通します。東京商工会議所渋谷支部の主催で、開通直前の工事現場を見学しました。他支部の参加もあり、総勢200名がバス4台で工事中のトンネルへ向かいました。現場に入るとバスの中でも「安全第一」、ヘルメット着用で説明を聞きます。場所によって、地上の首都高、一般道、地下の田園都市線、環状線内回り、環状線外回り、5層の構造物があって、トンネルは深さが約50mもあるそうです。バスは一旦、代々木に向かって進み、トンネル内で反対車線にUターンしました。開通後はこんな経験は出来ません。

今回の見所は、その深さ50mの地下から、地上橋脚上の首都高渋谷線との合流へ向かう、“大橋ジャンクション”です。そこではバスを降りて徒歩で見学が出来ました。現場資材搬入口から外の建物が見えました。これも、二度と見れない景色です。“大橋ジャンクション”は、国立競技場と同じ位の大きさの中で、車が2回転して地上へと向かいます。写真でぐ～っと、カーブしている様子が判るでしょうか。運転手は、車のアクセルを吹かしながら、また、カーブにハンドルを合わせながら、グングン昇って行くことになります。但し、昇りきった先には分岐があります。右は都心へ、左は東名高速へと向かう道です。運転手が早めに対処出来るように、かなり手前から案内表示が出ます。このジャンクションの特徴は、道路を「赤」と「青」に色分けしていることです。運転者は、約7



割の情報を目線の下から得ているようで、天井の案内板を多く出すより、路面をはっきり色分けした方が、より効果があるのだそうです。

2時間の見学でしたが、今後は不可能な経験も出来て、有意義な時間でした。次にここへ来る時は、車を運転している時だと思いますが、きっと、数十秒間で通り過ぎる空間なのだと思います。ジャンクションの構造物は、“目黒天球の庭”として緑で覆われ、周囲は街づくりとして再開発が進みます。次回は、そちらを見学したいと思います。



お知らせ

(株)アセット・アドバイザーでは、『毎月第三土曜日に無料相談会』を開催しています。「土地建物」や「相続対策」でお困りの方、是非、ご活用下さい。次回は3月20日。時間は午前10時から午後4時まで、ご予約のうえお越し下さい。